

## 診療情報・試料の他機関への提供について

国家公務員共済組合連合会 佐世保共済病院では、他機関が行う以下の臨床研究に情報の提供という形で協力しております。この案内をお読みになり、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分（家族）の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。情報の使用についてご了承いただけない場合でも、患者様に不利益が生じることは一切ありません。ただし、すでに解析を終了している場合など、研究データからあなたの情報を削除出来ない場合もございますので、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

### ➤ 対象となる方

2019年1月1日～2021年12月31日に佐世保共済病院において中心静脈カテーテル治療を受けられた患者様

### ➤ 研究課題名

静脈カテーテル感染症等の輸液ルート使用にかかわる実態調査

### ➤ 研究代表者（情報の管理責任者）

藤田医科大学七栗記念病院・薬剤課 二村 昭彦

### ➤ 研究目的

静脈カテーテルは入院患者のおよそ70%に挿入されているとされ、最も多く行われている医療行為の一つである。静脈カテーテルには末梢静脈カテーテル、中心静脈カテーテル、末梢挿入型中心静脈カテーテル、皮下埋込型中心静脈カテーテルなどの種類があるが、どのカテーテルも血管内に挿入されることから決して侵襲性がゼロの医療行為ではなく、それらによる合併症により入院期間延長や入院コスト増大などの負の影響をきたすことがあります。血管内カテーテル留置に伴う合併症には、カテーテル関連血流感染症（以下 catheter-related blood stream infection；CRBSI）、血栓症、静脈炎、閉塞、配合変化などがあげられます。

一方、栄養サポートチーム（NST）が全国的に稼働している施設においては、栄養管理法の適正化やカテーテル感染症の予防や治療に活動しています。しかしながら、これまでのNSTの活動によるCRBSIやその他の合併症に対する成果や課題を検証可能にした大規模かつ多施設による実態調査は行われていません。そこで、本研究では、静脈管理およびCRBSI、カテーテル閉塞の実態を調査し、その要因を明らかにすることを目的としています。

- 研究目的：1. 静脈カテーテルによる感染症とカテーテル閉塞の発生率  
2. 静脈カテーテル、輸液ルートの種類と使用状況  
3. 静脈カテーテル管理における安全性とNST および薬剤師の有用性

方法：日本臨床栄養代謝学会のホームページにて本調査への協力を公募し、既存の試料・情報の提供のみを行う機関からカテーテル管理に関する施設情報と対象患者のデータを収集します。本調査は後ろ向き観察研究です。既存の試料・情報の提供のみを行う機関の担当者は、インターネット上で Research Electronic Data Capture (以下、REDCap) システムにアクセスして施設登録および研究対象者の情報を提供します。

研究期間：各研究機関の長の許可日より 2022 年 12 月 31 日までとします。

### ➤ 情報の提供方法

完全匿名化した情報をインターネットを通じて藤田医科大学のシステムへアクセスし、データを入力する。

### ➤ 利用する診療情報

年齢、性別、基礎疾患、入院期間、カテーテル挿入・抜去日、薬剤、血液培養検査、アルブミン、CRP、白血球等の血液検査

### ➤ 研究に係る費用について

この研究は、日本臨床栄養代謝学会より郵送費等の事務費を負担する以外、特別な研究資金を必要としません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。また藤田医科大学利益相反委員会へ申請を行い、適切な利益相反マネジメントを受けています。

本研究はすでに診療を終えた過去の情報を取り扱うものであり、患者さんへ新たに経済的負担が増えることはありません。また、本研究に参加されることに対する謝礼はありません。

### ➤ 研究組織

研究代表者：二村 昭彦 藤田医科大学七栗記念病院 薬剤課  
共同研究者：飯田 純一 済生会横浜市南部病院 入退院支援センター  
臼井 正信 藤田医科大学病院 緩和ケアセンター  
荻野 晃 トーカイ薬局 中津川市民病院前店

鈴木 彰人 九州保健福祉大学大学院医療薬学研究科 臨床薬学第三講座  
谷口 靖樹 三重北医療センター いなべ総合病院 薬剤部  
東 敬一郎 浅ノ川総合病院 薬剤部  
牧 宏樹 市立甲府病院 薬剤部  
水谷 一寿 洞爺温泉病院 薬剤課  
室井 延之 神戸市立医療センター中央市民病院  
名徳 倫明 大阪大谷大学薬学部薬学科 実践医療薬学講座  
応募により、既存の試料・情報の提供のみを行う機関

[https://fujita.bvits.com/esct/publish\\_document.aspx?ID=5520](https://fujita.bvits.com/esct/publish_document.aspx?ID=5520) を参照ください

## ➤ 相談窓口

研究への利用を拒否する場合の連絡先

国家公務員共済組合連合会 佐世保共済病院 薬剤科 渡辺 一章  
〒857-8575

佐世保市島地町10-17

電話番号：0956-22-5136（代表）

研究に関する問い合わせ

藤田医科大学七栗記念病院・薬剤課 二村 昭彦  
〒514-1295

津市大鳥町424-1

電話番号：059-252-1555